

最近帝國主義勃興の經濟的原因に就て

大村，作次郎

<https://doi.org/10.15017/2344445>

出版情報：史淵. 4, pp.56-67, 1932-07-15. 九州帝国大学法文学部
バージョン：
権利関係：

史淵第四輯正誤表

頁 行 正 誤

五	一	標題	弘安四年四月
七	一三	弘安四年四月	あつて、ともに
一〇	四	あつて、ともに	牽制
一三	二	牽制	乗換へて
同	一二	乗換へて	類従本
同	一六	類類本	元寇史蹟研究
一四	一二	元寇史蹟研究	海岸はいかに。
一八	一二	海岸はいかに。	類すべきものであらう。
三一	九	類すべきものであらう。	帝王編年記にあるが
四〇	四	帝王編年記にあるが	着京
四二	八	着京	思圓上人の八幡祈禱の
四六	三	思圓上人の八幡祈禱の	偉功を
五〇	一五	偉功を	考へなければならぬ。
五一	八	考へなければならぬ。	止泊
同	九	止泊	抵觸
同	一〇	抵觸	ことをより大
同	同	ことをより大	逃避せんとした
五三	一四	逃避せんとした	見るべく
五四	一六	見るべく	附けた
六二	八	附けた	燕稿の一部分の
六八	七	燕稿の一部分の	燕稿の一部分の
九	七	燕稿の一部分の	燕稿の一部分の

(桃蹊雑話) 卷ノ一所載

(桃溪雑話) 卷ノ一所載

頁 行 正 誤

六九	一	東見記	豁然
七四	一	豁然	せしめてある
七八	二	せしめてある	破壊せば
八二	二	破壊せば	幽谷は
八四	二	幽谷は	二卷を著して
八五	四	二卷を著して	顧問
八八	一五	顧問	至らしむるの次第
八九	五	至らしむるの	のである。
九七	三	のである	繩紋土器
九九	五	繩紋土器	繩紋土器
同	六	繩紋土器	繩紋式土器
同	一六	繩紋式土器	河内國府
一〇二	九	河内國府	合口壺
一〇六	九	合口壺	國府
同	一	國府	見出される
一一二	一六	見出される	中山先生の言はれた如く
一一六	一四	中山先生の言はれた如く	小型の精巧品
一二一	一〇	小型の精巧品	日本歴史
一二三	上段一六日	日本歴史	御講演を賜つた
同	下段	御講演を賜つた	風土記抄
同	五	風土記抄	所爲然に
一二六	下段一八	所爲然に	